

# 【平成17年度実績報告】奈良市地球温暖化対策庁内実行計画

## 1. 全体目標と実績

### 目標

平成19年度までに、本市の事務及び事業における温室効果ガスの総排出量を平成13年度を基準として、4.8%削減するよう努めます。

### 実績

平成17年度の温室効果ガス排出量は、55,244 t - CO<sub>2</sub>で、平成13年度と比較すると、量で518 t - CO<sub>2</sub>、率では0.95%増加しました。

## 2. 個別目標と実績

### (1) 低公害車等の導入

#### 目標

公用車への低公害車等の導入については、平成19年度までに保有する公用車のうち低公害車等の割合を概ね6%に増車するよう努めます。

#### 実績

平成17年度は840台の公用車を保有しており、このうち低公害車等の導入台数は50台で、割合は6.0%です。

### (2) 公用車における燃料使用量の削減

#### 目標

公用車における燃料の使用量は、平成13年度比で、平成19年度までにガソリン・軽油をそれぞれ概ね5%削減するよう努めます。

#### 実績

平成13年度と比較して、ガソリンでは24.9% (172 t - CO<sub>2</sub>) 増加し、軽油では28.8% (414 t - CO<sub>2</sub>) 削減しました。  
しかし、低公害車等の導入による燃料の多様化で、液化石油ガス (LPG) が106,216 kg (319 t - CO<sub>2</sub>)、圧縮天然ガス (CNG) が63,805 m<sup>3</sup> (127 t - CO<sub>2</sub>) 使用しました。  
この結果、平成17年度の燃料使用量は、全体で9.6% (204 t - CO<sub>2</sub>) の増加でした。

### (3) 電気使用量の削減

#### 目標

電気使用量を平成13年度比で、平成19年度までに概ね3%削減するよう努めます。

#### 実績

3.0% (865 t - CO<sub>2</sub>) の削減でした。

### (4) ガス・石油使用量の削減

#### 目標

ガス・石油の使用量を平成13年度比で、平成19年度までに概ね3%削減するよう努めます。

#### 実績

全体では、25.8% (2,320 t - CO<sub>2</sub>) の増加でした。  
灯油は、103.5% (913 t - CO<sub>2</sub>) の増加でした。  
重油は、36.4% (1,227 t - CO<sub>2</sub>) の増加でした。  
液化石油ガス (LPG) は、229.3% (493 t - CO<sub>2</sub>) の増加でした。  
都市ガスは、6.9% (313 t - CO<sub>2</sub>) の削減でした。

### (5) 上水道の適量使用

<b>目標</b> 上水使用量を平成13年度比で、平成19年度までに概ね3%削減するよう努めます。
<b>実績</b> 29.2% (443,372 m <sup>3</sup> ) の削減でした。

### (6) 用紙類の使用量の削減

<b>目標</b> 用紙類の使用量について、平成13年度比で、平成19年度までにコピー用紙を概ね5%削減するよう努めます。
<b>実績</b> コピー機使用枚数は、20.7% (3,181,567枚) の増加でした。 用紙購入枚数は、28.5% (8,417,077枚) の増加でした (平成15年度比)。

### (7) ゴミの発生抑制

<b>目標</b> ゴミの発生量を平成19年度までに5%減量します。
<b>実績</b> 8.8% (9,685 t) の減量でした。

## 3. 基準年度 (平成13年度) 後の新たな温室効果ガス増加要因

平成17年度の温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して増加しましたが、その要因として基準年度後の行政組織の拡大があげられます。

本市は、平成14年度の中核市への移行や平成17年度の市町村合併など行政組織が大きくなっています。また、施設の新設も温室効果ガス排出量を押し上げる要因となっています。

このことを考慮し、基準年度の行政組織と比較すると、温室効果ガスの削減目標は達成できています。

## 4. 今後の重点取組事項

削減目標と実績を比較検討した結果、今後は次の取組を重点的に行います。

### 【スローガン】

「もったいない」の心をもとう

### 【重点取組】

- 用紙の使用枚数を減らす
  - ・両面コピー、不要紙の裏面利用の徹底
  - ・パソコンからの印刷は、必要最小限にする
  - ・文書及び資料は、極力共有化し、回覧・掲示板を活用する
- 始業前、昼休み時間、残業時は、不要な照明を消灯
- アイドリング・ストップの徹底
- 公用車の走行ルート合理化、相乗りなど、公用車の効率的利用に努める
- ゴミの減量・分別の徹底